

社会保障研究所日誌 (昭和 53. 1~53. 3)

昭和 53. 1. 17 専門委員会開催 (健保会館)

1. 26 経済分析研究会 (第 6 回) 報告内容「アメリカ医療の模索」報告者: 国立公衆衛生院社会保障室長 前田信雄

同 経済・社会研究会 (第 8 回) 報告内容「自由経済と社会保障」報告者: 所長 馬場啓之助

同 定例役員会開催 (第 134 回)

1. 30 政策研究会 (第 7 回) 報告内容「雇用保険の動向と問題点」報告者: 労働省職業安定局雇用保険課長 望月三郎

2. 2 社会分析研究会 (第 7 回) 報告内容「市民の社会福祉活動への参加の現実と可能性——東京都における調査より——」報告者: 研究員 高橋紘士

2. 7 統計調査研究会 (第 7 回) 報告内容「所得分布の社会的要因」報告者: 研究員 岸 功

2. 8 第 12 回社会保障研究所シンポジウム開催 テーマ(1)「福祉国家の次の段階—福祉政策の総合化と高次元化—」 レポート: 中央大学教授 丸尾直美, コメント: 社会保障研究所長 馬場啓之助, コメント: 社会保障研究所研究員 高橋紘士, 司会: 慶応義塾大学教授 大熊一郎 テーマ(2)「社会福

祉水準の国際比較」レポート: 日本社会事業大学学長 仲村優一, レポート: 東京都老人総合研究所社会福祉室長 前田大作 コメント: 関西学院大学教授 村山牙子, コメント: 社会保障研究所研究員 小林良二 司会: 社会保障研究所長 馬場啓之助

2. 16 制度研究会 (第 7 回) 報告内容「韓国の社会開発と社会福祉」報告者: 韓国中央大学教授 金徳俊

2. 23 経済・社会研究会 (第 9 回) 報告内容「社会構造と社会福祉——最近のイギリスの文献について」報告者: 研究員 小林良二

同 定例役員会開催 (第 135 回)

3. 7 統計調査研究会 (第 8 回) 報告内容「家族周期段階の変化における住居費負担と家計構造」報告者: 研究員 大本圭野

3. 13 所長 馬場啓之助 デンマーク, イギリス, フランス 3 国の社会保障視察のため出張 (3. 25 まで)

3. 28 社会分析研究会 (第 8 回) 報告内容「シーボーム改革と組織問題」報告者: 研究員 小林良二

同 政策研究会 (第 8 回) 報告内容「医療保険の抜本改正について」報告者: 専門委員 小山路男

3. 30 経済・社会研究会 (第 10 回) 報告内容「“家”の解体と老後保障」報告者: 理事 福武 直

同 定例役員会開催 (第 136 回)